

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		050102 国際交流フォーラム開催支援事業		担当部課	部課コード	050100	2998-9211			
事業コード		050102		文化芸術振興課						
開始年度		平成 7 年度		終了年度	年度					
事業の種類		自治事務		法定受託事務	法定受託 + 附加		根拠法令			
分野別計画・指針										
関連・類似事業										
総合計画の体系		章	コミュニティ	節	国際社会	基本方針	多文化共生の意識を育む環境づくり			
事業開始の背景		市内には、多くの外国籍市民が暮らしている。その方達と一般市民とが日常生活においても理解しあうためには、直接触れ合い、話ができる交流の場が必要なことから、国際交流フォーラムを開催した。								
目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)										
市民と外国籍市民との共生意識の啓発を目的とする。										
対象(誰を、何を対象としているのか)										
所沢市民(在住外国籍市民を含む)				対象数	単位	平成 26 年度	342,564 人			
						平成 27 年度	343,067 人			
事業の具体的な内容及び実施方法 市内に拠点を置く国際交流ボランティア団体と個人ボランティアが主体となり実行委員会を組織し、年に一度所沢市国際交流フォーラムを実施している。フォーラムでは 所沢市の姉妹都市紹介 外国籍市民や留学生とのディスカッション 舞台での発表(和太鼓・歌・ダンスの発表)、フォークダンスや盆踊り 常設コーナー(姉妹都市と所沢市の子供達が描いた絵の展示、着物着付け体験、世界のお茶試飲、手工芸作成体験等)を実施し、所沢市民(外国籍市民を含む)間のコミュニケーションの機会を作るとともに、知人作りや国際理解の場を提供している。										
経費	会計種別		一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額				350	200	200			
	決算(見込み含む)				350	200				
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)		(人)	(人)	(人)	(0.07人)				
	正規職員人件費		0.39人	3,401	0.65人	5,629				
	事業費合計			3,751		5,829				
	財源内訳		一般財源		3,751	5,829	200			
		国・県支出金								
		その他()								
実績	項目名		項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績		外国籍市民の交流		人	89	107			
			多文化共生啓発チラシ等配布枚数		枚	3,304	6,544			
		初めて参加した人数		人	84	82				
成果	項目名		項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標		参加者数		人	目標値 400	400	550		
						実績 554	544	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図		
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	139	136	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	外国籍市民によるショートスピーチを受けて、来場者(日本人市民、外国籍市民)が5つの輪になって話す「交流会」では、様々な文化をもつ人と直接会話をすることで、相互理解を深めることができた。また、多文化共生についてのスピーチを新たに盛り込んだことで、来場者に対し、さらに意識啓発を行った。									
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了		事業実施方法(複数選択可)		理由		多文化共生事業として、在住外国籍市民にとってさらに効果的な取り組みとなるよう常に内容を検討していく必要がある。			
	方向後の		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		理由		事業の効果を担保するために最低限必要な予算である。			
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性					
	平成27年度に初めて参加された当日ボランティアの2名を今年度は実行委員会に迎え、新たな視点も取り入れながら、事業内容等を検討している。				在住外国籍市民や国外にルーツを持つ市民がその他の市民と同様に暮らせる体制を支援していくことは重要である。国際交流フォーラムは、外国籍市民等の声を聞き、ニーズを直接聞く場として有効であるため、今後も多文化共生社会の実現に向けて改善を図りながら実施していく。					
評価日		H28.8.16		評価者職氏名		文化芸術振興課長 吉田 謙治				
環境影響	有益な環境影響				有害な環境影響を及ぼす原因活動		チラシ・ポスター・プログラムの配布		規制を受ける環境法令等	無
									緊急事態	無